

ちょっとそこまで

わがまち散歩



見事によみがえった木山神宮の本殿。その厳かなたたずまいに心が落ち着きます

「道すがら、心通わす人がいる
古里の温もりに包まれながら
あちらこちら、わがまち散歩」

屋間ともなると、半袖のTシャツ一枚で過ごせる季節になりました。「口ナ禍で感染予防はまだ必要ですが、お天気の日は屋外に出て心を解放することも大切です。今回は木山地区を歩いてみました。

見事によみがえった 木山神宮本殿

薰風が渡ると若葉が揺れて、キラキラとまぶしい木漏れ日をつくります。

散歩には絶好の季節が到来しました。
町に春を呼ぶ、木山初市が開かれる

横町通り。ここは阿蘇神社の流れをくむ木山神宮の参道で、阿蘇神社と同じ横参道です。しかも下りの横参道は全国でも珍しいとされており、横町の地名の由来はここからきています。

由緒ある木山神宮の現在の神殿は、



保管中のこま犬。並んでい
る姿は今だけしか見ること
ができません

船野山を前に下る横町
通りは、木山神宮の横
参道です

再建された木山神宮の鳥居。朝の
境内は空気が澄み渡っています

木山
きやま
2
編



上／神札授与所に飾られる江戸時代に描かれた絵馬。拝殿が完成すると移されます



左／阿蘇神社と木山神宮に仕える矢田さんは、「両方の神社の復興を見守り続けながら、自分のやれることを精一杯やります!」と元気な笑顔を見せます

町の名物プリンと 愛らしい来客

だけは昔と変わらない『古里の姿』で、皆さまの心のより所であり続けたいと思います」と話すのは禪宜で39代目の矢田幸貴さん(40)です。
おみくじ舎には、たくさんのおみくじが結ばれています。木山神宮の一日も早い完全復興を願う人たちの思いが伝わってくるようです。

宝暦2(1752)年の江戸時代に建立されました。熊本地震で本殿と拝殿、そして鳥居が倒壊しましたが、本殿と鳥居が立派に再建され、本年度内には拝殿が完成予定です。

再建された本殿には、かつての本殿の2万パーセントの組み物のうち、7割が使用されました。新材料には「古色塗装」という特殊な技法で江戸時代の色合いが再現されており、貴重な木彫りの組み物と新材料の違和感が全く感じられず、まさに「よみがえった本殿」といつたたずまいです。

「移り変わる町の景色の中で、ここ

「手作りプリンを販売するようにな

一昨年9月に、横町通りにオープンした「岡本商店」。この店の名物が「益城プリン」です。トロトロとして風味豊かで、大人から子どもまで人気の味です。